

レジ袋廃止の取組事例（日本初）

【町田市】

○モデル店舗によるレジ袋廃止に関する協定の締結

2008年3月4日、町田市、市民団体及び事業者（市内のスーパー1社）が「レジ袋ゼロの社会」を目指し、レジ袋廃止試験の実施に関する協定を締結。レジ袋廃止実験は2008年3月14日から6ヶ月間。この間、事業者はレジ袋廃止試験の実施及びその効果等検証、市民団体と行政はこの活動を全面的に支援。試験終了後は、市内の他の事業者にも連携を呼びかけ、全市的にレジ袋ゼロにするための取組を検討。

※詳細は、町田市発表を参照（別添）



記 者 発 表 資 料
2 0 0 8 年 3 月 4 日
清掃事業部ごみ減量課長 鈴木
電 話 042-797-0530

ごみゼロのまちの実現に向けた レジ袋廃止実験に関する協定の締結について

地球温暖化防止の必要性が叫ばれ、また世界の化石燃料の枯渇問題が指摘される昨今、プラスチックごみの象徴的なものとなっている“ポリエチレン製のいわゆるレジ袋”の減量は、極めて大きな課題です。

そのような状況の中、市内でゼロ・ウェイスト運動を推進している市民団体の有志からの要請を受け、株式会社三和がレジ袋廃止実験に取り組むことになりました。そこで、町田市を含めた三者間で、『「レジ袋廃止実験に関する協定」』を締結し、協議会を立ち上げていくことにしました。

今後は、この協定に基づき、事業者が主体となって実験の実施及びレジ袋廃止に向けた制度の検証に取り組み、市民団体と行政はこれら活動を成功させるために、様々な支援をしていきます。

さらに実験終了後は、この結果を踏まえ、市内の他の業者・市民団体などへ賛同を呼びかけて連携を図り、全市的にレジ袋をゼロにするために取り組んでいきます。

1 協定締結者

- ・ 株式会社三和 代表取締役社長 小山克巳（こやまかつみ）
- ・ 町田発・ゼロ・ウェイスト宣言の会 代表 広瀬立成（ひろせたちしげ）
- ・ 町田市 市長 石阪丈一（いしざかじょういち）

2 主な協定の内容

- (1) 株式会社三和のレジ袋廃止実験実施
- (2) 株式会社三和のレジ袋ゼロの実現に向けた方策の研究
- (3) 株式会社三和の経費削減分の一部の社会還元
- (4) 町田発・ゼロ・ウェイスト宣言の会による支援
- (5) 町田市ならびに他の行政機関による支援

3 実験実施内容

買物客に「レジ袋の提供サービス」を無料、有料を問わず廃止します。併せて、買物客の評価、意見、協力度、満度等について調査し、拡大の方策などを検討します。

なお、実験実施前に買物客に周知を図ると同時に「マイバッグ」を配布します。また、実験期間中「マイバッグ」を持参されなかった買物客に対して必要に応じてレジ袋に替わる入れ物（ダンボール箱、紙袋等）を用意します。

4 実験実施場所

株式会社三和小山田店 〒194-0204 町田市小山田桜台 1-20
Tel: 042-797-2821 Fax: 042-797-2823
(営業時間：午前10時～午後9時)

5 実験開始日及び期間 2008年3月14日（金）から約6ヶ月間

6 協定締結日 2008年3月 4日